

Mimiyori Column  
耳寄りの学びコラム

知っていると思える、ちょっと耳寄りの学びの情報をお届けします。

言葉遊びで  
国語力を伸ばす

最難関中学の国語の入試問題で必要となる語彙数をご存知ですか?一般的な小学6年生が持っている語彙数は1万5千語程度と言われていますが、最難関中学を受験する子どもたちは、その約2倍に当たる3万語程度の語彙数を持っています。

国語力の土台は何と言っても「語彙力」です。語彙力は一朝一夕に身につくものではなく、塾のみならず普段の読書や家庭での日常会話からこつこつと築き上げていく必要があります。

特に低学年の間は、無理に言葉を覚えさせるよりも、楽しいと思える方法で言葉に触れる機会を作ることが大切です。例えば、「尻とり」ならぬ「頭とり」。思いの他難しいのでやり応えは十分。家族で言葉と戯れながら語彙力を鍛えましょう。

「頭とり」のルール  
言葉の頭の文字を取って繋げていく遊び。



今月の講師

辻本輝海さん  
個別指導教室SS-1  
国語・社会科講師

中学受験から大学受験までを担当。



まずは子どもに必要な学習を見極める  
塾選びの際は、志望校や塾の知名度よりも、家庭や子ども本人が塾に何を求めるかを優先します。補習型の塾で基礎学力が付いてきたのであれば、ニーズが変わったので、応用問題を学べる塾への転塾を視野に入

先生の質問して  
転塾の目安に  
今の塾が子どもに合っているかどうかを確認したい時は、先生に子どもの学習状況や塾の方針について質問してみます。ただ、質問が曖昧だと塾の先生からは無難な答えしか引き出せ

塾の先生に質問してみよう

1. 実際に授業を担当している各教科の先生に聞く  
我が子の得手不得手、授業に参加できているか、宿題は指示通りにできているか、次週までにやるべき具体的な内容、など
2. 学年主任や室長に聞いてみる  
一年間の授業方針や学習予定、講習の目的、など  
塾からのアナウンスを待つのではなく、親から積極的に質問に行く  
具体的な答えが返ってきたらOK!

転塾後の生活を  
シミュレーション  
生活や学習のリズムが大きく変わるため、転塾は思った以上に大変です。転塾前に今の塾を1



この方に伺いました  
個別指導教室SS-1代表  
小川 大介さん  
子どもが短期間で結果を出すコーチング技術など独自の指導法を確立。教育系雑誌やウェブ、書籍への執筆多数。

City Life 教育特集  
子どものナビ  
学びNAVI

転塾を考える時に  
知っておきたいこと

塾に通わせているものの子どもが伸び悩んだり、子ども自身が「塾を変えたい」と言い出すことがあります。今の塾で本当に良いのか、転塾した方が良いのか悩んだ時、何を基準に判断すれば良いのでしょうか。転塾で失敗しないためには、抑えておきたいポイントがあります。

でも良いでしょう。逆に、学校の授業のつまづきを改善したいなら厳しい進学塾は合いません。まずは今の子どもとの状態を見極め、親子で話し合いながら、どういう学習が必要かを明確にしましょう。その上で、塾に「こんな学習を期待している」と直接聞いてみると良いです。

「任せたいのだから」とだけ答える先生もいます。質問例は左表を参考にしてみてください。また、先生個人を責めるような言い方ではなく、「親の役割を教えてください」「親

も心づもりをしておきたいのだから」と聞き出すコツです。その上で、具体的に納得できる回答が返って来れば、転塾の必要はありません。

週間ほど休み、検討している塾で体験講習を受けながら、転塾後の生活・学習のシミュレーションをしてみましょう。授業の進み具合や宿題の量、子どもに求められる学習レベルを確認し、今の塾と比べて本人に合っているかの見極めを。特に春期講習は新しい塾生向けのカリキュラムで入りやすい雰囲気なのでおすすめです。

小川大介さんの最新刊

『成績アップと合格をかなえるコツとわざもう悩まない中学受験』  
(海拓舎出版) 2017年1月30日発売  
中学受験は「受験戦略」があるかどうかで合格が決まるという。難関中学合格者8,000人以上の実績に基づいた、効果的な家庭学習や精神的なアプローチなどの指導法を一挙公開。



行政通信

普段何気なく利用しているサービスや、地元の楽しいイベントなど行政の取り組みは多岐にわたります。このコーナーでは、快適に過ごせる市民向けサービスやお楽しみ情報などを紹介していきます。

イベント

「芦屋をめぐるスタンプラリー」と音楽クイズ開催

芦屋市と芦屋市商工会が協働して開発中のスマートフォン用アプリ「芦屋歩記」が4月から配信予定。芦屋市内の飲食・物販等のお店や文化施設、公園等の情報が詰まったアプリです。配信に先立ちβ版による市内約40店の飲食店舗でスタンプラリーを実施します。

- スタンプラリー実施期間:2/1(水)~20(月)スタンプラリー参加者は、芦屋観光協会が主催する「芦屋みどりの音楽祭」の平行イベント「音楽クイズに挑戦しよう」のクイズに回答すると参加賞がもらえます。(先着300人)。
- クイズ配布場所:芦屋市経済課・芦屋市商工会・芦屋歩記スタンプラリー参加店舗(一部)他
- 参加賞引換:  
2/5(日)芦屋みどりの音楽祭会場(甲南高校講堂)  
2/1(水)~20(月)平日9時~17時 経済課にて

■お問合せ:芦屋市商工会 TEL.0797-23-2071/芦屋観光協会事務局 TEL.0797-38-2033

ASHIYA

多文化交流カフェ

多文化交流カフェ参加者募集

中央区人口の約10%(約12,000人)は外国人居住者です。その国籍数は約100カ国にのぼります。多文化交流カフェでは、様々な国の人と出会い、カフェでお茶を楽しむような気軽さでお話ししながら交流し、互いの国に対する理解を深めます。

- 日時:3/5(日)13時半~16時(開場13時)
- 場所:神戸市立海外移住と文化の交流センター 5階ホール(神戸市中央区山本通3-19-8)
- 定員:50名(応募多数の場合は抽選)※落選された方のみご連絡
- お問合せ・お申込み:中央区まちづくり推進課「多文化交流カフェ」係 TEL.078-232-4411(内211)/FAX.078-242-3599
- 申込方法:①電話 ②FAXにて問い合わせ先へお申込みください。  
※2/24(金)必着。  
※「多文化交流カフェ参加」の旨と、参加者全員の名前、代表者の住所・電話番号を明示してください。



KOBE CHUOU

シンポジウム

市長と話そう・灘区の子育て ~なだ地域子育てシンポジウム~

地域での子育てに関わっている大学・地域団体・NPOなどの活動紹介と久元喜造 神戸市長によるこどもに関する施策を中心とした市政報告を行います。

- 日時:3/8(水)10時半~12時
- 場所:灘区民ホール(神戸市灘区岸地通1-1-1)
- 申込方法:FAX、はがき、メールに代表者の住所、氏名、電話番号、託児の有無を明記の上、お申込みください。 ※2/22(水)必着
- 参加費:無料(手話通訳あり 託児あり(1才以上))
- お問合せ・お申込み:灘区まちづくり課「シンポジウム」係 〒657-8570(住所不要) TEL.078-843-7001 FAX:078-843-7034 E-mail nadaku@office.city.kobe.lg.jp

KOBE NADA

福祉サービス

認知症SOSメール配信事業開始

西宮市では、認知症SOSメールの配信事業を始めます。認知症により行方不明となる恐れがある方の氏名・写真などを事前に登録し、万が一行方不明となられた場合に、捜索協力者へ電子メールで情報提供し、いち早く行方不明者の発見・保護につなげていきます。(下記のQRコードから登録できます)

- 介護をされているご家族の方  
n.n.sos@req.jp  
へ本人の写真を添付して送信  
(件名・本文は空欄)
- 捜索に協力いただける方  
n.n.kyoryoku@req.jp  
へ空メールを送信

■お問合せ:西宮市役所 地域共生推進課 地域福祉推進チーム TEL.0798-35-3286



ツアーイベント

東灘区の魅力を再発見 ~てくてく東灘「酒と歴史の探訪コース」~

東灘歴史掘り起こしマップをもとに、講師(道谷卓氏:神戸深江生活文化史料館副館長)の解説を聞きながら東灘区の史跡や名所を散策します。

- 日時:3/18(土)9時~12時
- 定員:60名(応募多数の場合は抽選)
- 参加費:無料
- 行程:こうべ甲南武庫の郷、神戸酒心館、白鶴酒造資料館、西方寺など(予定)
- お問合せ・お申込み:東灘区まちづくり課「てくてく東灘係」 〒658-8570(住所不要) TEL.078-841-4131(内線236) FAX:078-811-4901 e-mail:h-matika@office.city.kobe.lg.jp
- 申込方法:はがきか電子メール、FAXに応募者全員(4人まで)の住所、氏名、年齢、電話番号、FAX番号を記入し2/22(水)必着で問合せ先へ申込み



KOBE HIGASHINADA